

KINKON

2024 冬
vol.22

ZERO
CO₂
2050™



Photographed by the members of Hokuetsu group



北越コーポレーション

KINKONは、当社工場の地名の頭文字を組み合わせ、お客様を訪問する際のチャイム音「キンコン」をイメージした、当社の環境活動通信誌です。

生物多様性の保全

当社と自然との関わり

北越グループでは、人と自然が共生する豊かな未来づくりに貢献するため、「北越グループ環境憲章」を制定し、自然環境に与える影響を最小限にする「ミニマム・インパクト」を追求した企業活動を行っています。

本誌では、各事業所で生物多様性の保全に向けた、各事業所で行っているさまざまな、ネイチャーポジティブにつながる活動を紹介しています。

持続可能な森林管理

生物多様性に配慮した森林の管理と育成を行っています。



KINKON vol.16
<https://www.hokuetsucorp.com/kinkon/pdf/KINKON16.pdf>



岩手県社有林 FSC®C023503
自然共生サイト(環境省 30by30)に認定
https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/documents/ninte/R5second06_HokuetsuCo_SodekawaForest.pdf



Al-Pac (北越グループ・カナダ)
管理委託林の保全
<https://alpac.ca/sustainability/forest-management/>



工場周辺の生態系保護活動

Al-Pac (北越グループ・カナダ)
水鳥やカリブー(トナカイ)の保護活動
<https://alpac.ca/sustainability/forest-management/research-and-monitoring/wildlife-conservation/>



関東工場(勝田)
調整池での鯉や鴨の生育



森を
育てる

生物を
まもる

水を
きれいに

環境整備活動

工場周辺および河川敷の清掃



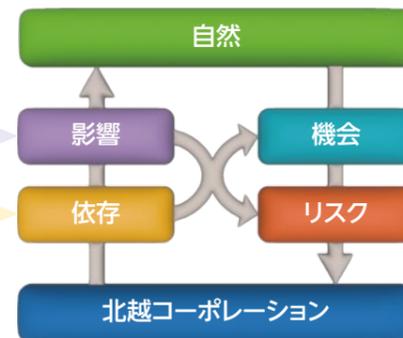
TNFD(自然関連財務情報開示タスクフォース)提言に基づく情報開示

北越グループは、木や水などの自然の恵みを活用し事業活動を行っています。豊かな自然環境に必要な不可欠である「生物多様性」をまもるため、自然資本および生物多様性に関するリスクや機会について、統一した開示の枠組みであるTNFD提言に基づいて情報開示を行っています。

<https://www.hokuetsucorp.com/environment/tnfd.html>



- 植林などによる陸域への影響
- 紙の製造で水を利用することによる影響
- 木や水など自然資本を活用した事業活動



- 持続可能な原材料調達によるブランド価値向上
- 環境負荷の低い製品の需要増加
- 環境法規制の強化や法令対応に伴うコスト増加
- 異常気象や森林火災によるコスト増加

水資源への ミニマム・インパクト

徹底した使用量の管理と高度水処理設備によって節水を行い、工場で使用する水の削減に取り組んでいます。



海洋プラスチック 問題への対応

海洋プラスチック問題などに対応するため、プラスチック使用量の削減につながる紙素材を販売しています。

KINKON vol.19
<https://www.hokuetsucorp.com/kinkon/pdf/KINKON19.pdf>



パンセカップ



PASCO



バイオマス由来のCO₂を分離回収する実証試験

当社は、新潟工場の回収ボイラーから排出するCO₂を三菱重工業株式会社の小型CO₂回収装置(CO₂MPACT™モバイル)を設置し、実証試験を11月から実施しています。製紙に必要な蒸気や電力をつくる回収ボイラーの主な燃料は、紙の原料となるパルプの製造過程で発生する黒液です。黒液を燃焼して発生するカーボンニュートラルなCO₂の分離回収と、輸送貯留技術との組み合わせにより大気中のCO₂を削減する技術「ネガティブエミッション」が実現されます。

当社は、本実証試験を通じて将来のネガティブエミッションの可能性を検証し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献してまいります。

北越コーポレーション プレスリリース

https://www.hokuetsucorp.com/pdf/20241129_release01.pdf



三菱重工業株式会社 ニュース

<https://www.mhi.com/jp/news/24112901.html>



TOKYO PACK 出展

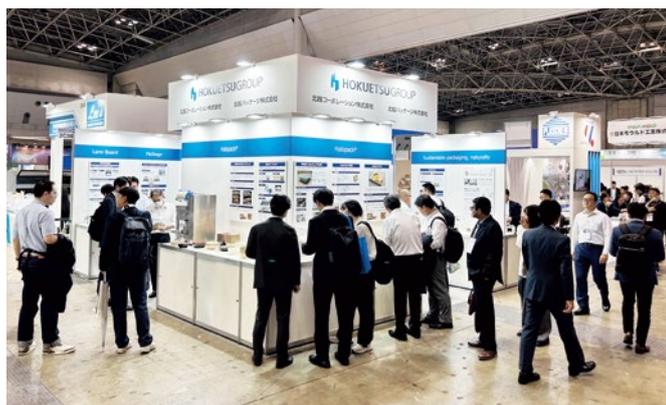
日本最大級の包装の展示会TOKYO PACK2024に出展し、北越パッケージとの共同ブースで、環境負荷低減に貢献する紙包装材を紹介しました。

すでに実績のあるポエムといった製品に加え、パンセ、透明紙、ノンフッ素耐油紙、酸素バリア紙、ピロー包装用原紙といった開発中の新素材も展示しました。研究所の開発担当者が直接説明することで、来場者の皆様に、当社が目指すサステナブルな包装材の未来をより深く理解していただく機会となりました。

今後お客様と社会のニーズに応えるべく、より環境に優しい紙の開発に積極的に取り組んでまいります。

北越コーポレーション 新規開発HP

<https://www.hokuetsucorp.com/develop/>



大王製紙との戦略的業務提携

当社は2024年5月に大王製紙株式会社と戦略的業務提携基本契約を締結しました。業務提携の一環として、製品の輸送効率向上を目的としたトラックやコンテナの相互活用を取り組みを進めており、7月よりトラックによる「ラウンド輸送」を開始しております。また当社が所有する鉄道コンテナの相互活用に向けた検討も進めており、両社で効率的な輸送を実現することで、物流費の低減だけでなくCO₂排出量の削減を目指しています。



当社新潟工場製品を積み込んだダイオーロジスティクス株式会社のトラック



大王製紙株式会社三島工場製品を積み込んだ当社コンテナ

編集後記

当社の企業活動は、「木」や「水」といった自然からの恩恵を大きく受けており、自然環境ひいては生物・生態系に対して大きな責任があるということを再認識しました。

本誌ではネイチャーポジティブにつながる活動の一例を紹介しましたが、今後もサプライチェーン全体で生物多様性の保全への取り組み事例を増やしていく事が重要だと感じました。

引き続き、当社の取り組みを発信することによって、その架け橋を担っていきたいと考えております。

この通信誌の用紙にはミューマツト-F 157g/m²を使用しております。

KINKON vol.22

2025年1月発行

【発行】

北越コーポレーション株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町3-2-2

TEL(代):03-3245-4500 FAX:03-3245-4511

<https://www.hokuetsucorp.com>

ZERO
CO₂
2050™

